信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

千曲川流域治水講演会

要事前予約
無料

豪雨災害に関する情報と避難について考える

2026年12月3日（木）　9:00-10:30



矢守克也

京都大学防災研究所教授

今年5月、新たな防災気象情報が運用開始となりました。その後、8月から9月にかけて、千葉県などで相次いで豪雨災害が発生し、早速、新情報の真価が問われました。新情報の導入について議論した「気象庁防災気象情報に関する検討会」、および、今年の豪雨災害を受けて設置された「内閣府令和８年８月千葉豪雨等を踏まえた内水氾濫対策検討会」、この2つの検討会で座長をつとめた経験を踏まえて、豪雨災害から命を守るための情報と行動について考えます。

会　　場：信州大学長野(工学)キャンパス（長野市若里4-17-1）
開催形式：会場参加　及び　オンライン配信（信州大学職員限定）
定　　員：会場240名、オンライン配信100名
対　　象：信州大学教員・学生、長野市在住・在勤の方、千曲川流域治水関係者、その他
参　　加：無料（要事前登録）
申込方法：右記QRコードより申し込みください
ただし、履修学生は申込不要です
申込期限：2026年11月27日（金）まで

※定員に達し次第、締め切らせていただきます
※会場・オンラインの参加案内は、12月1日(火)に登録メールアドレスへお送りします

主　催：信州大学工学部流域治水研究センター、
信州大学工学部千曲川流域治水研究寄附講座（日本無線）
後　援：信州大学工学部工学科水環境・土木工学分野、信州大学地域防災減災センター

問合せ：信州大学工学部千曲川流域治水研究寄附講座（日本無線）
特定准教授　木戸研太郎、kentaro_kido@shinshu-u.ac.jp

工学部内版